

# 高校生熟議 2012

～スマートフォン時代の情報モラルと利活用～

## 高校生熟議 2012 サミット 開催報告書

2012年12月15日（土）

於：東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）

主催・共催

大阪私学教育情報化研究会

安心ネットづくり促進協議会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

2012年12月26日

第1版



## 目 次

1. 開催概要 .....	1
2. 高校生熟議 2012 サミット 開催概要.....	3
3. 担当 .....	7
4. リアル熟議 成果物と終了後の対応 .....	7

## 1. 開催概要

名 称：	高校生熟議 <sup>1)</sup> 2012 ～スマートフォン時代の情報モラルと利活用～
主催・共催：	大阪私学教育情報化研究会 <sup>2)</sup> 安心ネットづくり促進協議会 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構
後 援：	内閣府 総務省 文部科学省 経済産業省 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 東京都高等学校情報教育研究会 読売新聞社、全国読売防犯協力会
熟議支援：	文部科学省 「リアル熟議」は教育現場の皆さまに主催いただきます。文部科学省は、テーマに関する基礎資料の提供、参考資料「熟議実践パッケージ熟議虎の巻」や「実施後アンケートテンプレート」の提供、Web サイト熟議カケアイへの実施告知や熟議結果の掲載等の支援を行ってまいります。 (『文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の取組』より)
協賛企業：	グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、NHN Japan 株式会社 株式会社インテグラル、株式会社中部トータルサービス
協力団体：	一般社団法人情報教育研究所 一般財団法人日本脳力研究協会 NPO 法人企業教育研究会
協力企業：	株式会社内田洋行、株式会社 BITS PUZZLE アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社ガイアックス、 グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ミクシィ
開催目的：	高校生熟議は、2011 年度に「高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」としてスタート致しました。初年度の高校生熟議では、大阪、京都、兵庫、奈良から 11 校が参加して、約三ヵ月間に、三回のリアル熟議と文部科学省「熟議カケアイ」上でネット熟議を開催しました。 高校生熟議の目的には二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、「熟議」を通して、初対面の人と話し合うという経験をより、段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二の目的は、社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。今年度は、急速に普及して

	<p>いるスマートフォンについて、高校生がその問題点と対応について熟議をいたします。また、高校生熟議では、通信事業者やサイトの運営事業者、情報モラルに携わる団体等の参加によりキャリア教育としての側面も持ち合わせています。</p> <p>さらに、東京、大阪の代表者による「高校生熟議サミット」を開催し、提言をとりまとめ、「高校生の意見を中央に」と考え、関係省庁にプレゼンテーションを予定しております。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年 4 月の小学校を皮切りに、今年度は中学校、来年度は高等学校と全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度の高校生熟議では、スマートフォンに関する熟議から、これまでのケータイによるインターネット利用と比較して新たな課や問題について、高校生が家庭や学校で如何に取組むべきかを先進的な取組で提案し参考に資する。</p>
<p>高校生熟議 2012 の概要：</p>	<p>高校生熟議 2012</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生熟議 2012 in 東京</li> <li>・高校生熟議 2012 in 大阪</li> <li>・高校生熟議サミット（東京・大阪の代表者による熟議）</li> <li>・最終報告会（サミットでの取りまとめを提言として関係府省庁等に報告）</li> </ul>
<p>高校生熟議 2012 実行委員会：</p>	<p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会副会長、私立羽衣学園高等学校）</li> <li>・ 更科幸一（プレゼンピック、私立自由学園高等科）</li> <li>・ 齋藤長行（青山学院大学 ヒューマン・イノベーション研究センター 客員研究員）</li> <li>・ 高橋正夫（社団法人全国高等学校 PTA 連合会顧問）</li> <li>・ 鎌田真樹子（熟議懇談会委員、違法・有害情報相談センターアドバイザー）</li> <li>・ 佐藤喜信（株式会社内田洋行 教育総合研究所）</li> <li>・ 石原友信（安心ネットづくり促進協議会 事務局）</li> <li>・ 吉岡良平（社）モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局）</li> </ul> <p>【スーパーバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平野翔大（第 43 代招待会議実行委員長）</li> <li>・ 金子真志（高校生熟議 in 大阪 最終報告者、ネット熟議高校生ファシリテーター）</li> </ul> <p>【事務局】</p> <p>一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局  吉岡良平 yoshioka_r@ema.or.jp 03-6913-9235  東京都港区西麻布 1-4-38 千歳ビル 3 階</p>

## 2. 高校生熟議 2012 サミット 開催概要

サミット概要：	<p>東京・大阪のそれぞれ3名の高校生代表（計6名）がそれぞれの熟議の結果を持ちより、最終提言をまとめるための熟議を開催しました。素晴らしい提言ができました。</p> <p>熟議サミット参加校：（各校1名） 〔東京都〕 東京学芸大学附属国際中等教育学校 〔神奈川県〕 鎌倉女学院高等学校 〔茨城県〕 水戸女子高等学校 〔大阪府〕 大阪市立東高等学校                   大阪羽衣学園高等学校 〔奈良県〕 奈良県立王寺工業高等学校</p> <p>【開会の挨拶】 内閣府 内閣府政策統括官（共生社会政策担当） 付 参事官（総合調整第一担当・青少年環境整備担当） 山本 和毅 様 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課 課長補佐 宮田 洋輔 様 お二人から高校生に期待のお言葉をいただき会は始まりました。</p> <p>第一部：熟議 「高校生が考えるスマートフォン時代の情報モラルと利活用」 まず全体の進行役の羽衣学園高校 米田謙三教諭より本日の大まかな流れとこれまでの主旨を説明していただきました。 アイスブレイクとして各メンバーが選んで買ってきたお土産の説明と意気込みを発表しました。 最初は緊張していましたが ここで少し和やかになってきました。</p> <p>「テーマ1」今までの熟議で出た課題や問題点を青い付箋に、「テーマ2」事業者や大人に向けてスマホをどのように活用しているか、また、やってもらいたいことを赤い付箋に、「テーマ3」行政の方に向けてスマホをどのように活用しているのか、また、してほしいことを緑の付箋に、「テーマ4」テーマ1～テーマ3をまとめて、次世代のスマホはこうなる、自分たちはこうしてほしいということを黄色の付箋にして書き出し、「テーマ5」テーマ1～テーマ4をまとめて最終発表を行いました。</p> <p>・提言資料作成 その後、約40分程度で 模造紙にまとめた本日の記録をプレゼンテーションファイルにまとめました。お互いに役割分担を決めて内容を簡潔にまとめ、また発表方法も自分たちで決めていきました。</p>
---------	--

## 第二部:提言発表

6名で5分以内という条件のもと うまく発表してくれました。

### 【発表内容】

私達が討論した今までの課題として”依存”という言葉がとて多く上がった。バッテリーのもちが悪いという一言をよく考えると、コミュニケーションが疎かになるであったり、ウイルスに感染して個人情報流出する。など、すべてがつながることがわかりました。またその原因は知識不足も関係していると感じました

自分たちでできることをポストイットに貼りました。

一番の原因は依存であると考えて色々な事を話しました。そこで出てきた話題として、情報が多すぎて疲れてしまった。だったり、リアルなコミュニケーションができない。などが上がりました。また、課金制のゲームは楽しいからといってお金を費やしてレベルアップができます。これは、やめてほしい！ということもでしたが、これは事業者さんや行政にお願いするのではなく、自分がセーブする必要があると考えました。

自分たちでできることもありますが、出来ないこともあります。そこで企業さんには、セキュリティ対策の強化をお願いしたいです。スマホは、使ってる人のウイルス対策が甘いこともあるので、スマホ本体にウイルス対策アプリを標準で搭載してほしいです。

それから、バッテリーの改良なども行って、長時間使えるようにしてほしい

続いて、行政さんへのお願いです。マスメディアも取り込んで、ネットリテラシーを広める啓発活動を、今まで以上にしてほしいと感じました。

また、学校の授業にも、ネットリテラシーに関する内容をもっと多く盛り込んでほしいと考えました。どのような教育をして欲しいかというと、スマートフォンを実際にウイルスに感染させ、感染すると”非常に危険である”というのを身をもって体感する必要があると思う。これは、先生たちでも厳しいので、行政に加えて事業者さんも手伝ってほしいし、国は支援をするべきであると思う。

スマートフォンは、色々なことをすぐ検索できてしまう。これは、”考える力”をなくすものだと考える。もっと私たちにはスマホについて考える時間が必要だと思う。

会場からは大きな拍手をいただき発表を終えました。

### 【講評】

お二人から本日の講評をいただきました。

熊本県熊本市立錦ヶ丘中学校 教頭 桑崎 剛 先生

栃木県立馬頭高等学校 校長

全国高等学校長協会 生徒指導研究委員会 副委員長 田代 和義 先生

その後、特別企画を実施しました。現在総務省のネットに関する会議で OECD 本部（パリ）に滞在中の齋藤先生からオンライン・メッセージをいただきました

	<p>た。</p> <p>青山学院大学 ヒューマン・イノベーション研究センター 客員研究員 齋藤 長行 先生</p> <p>最後に全体で集合写真を撮影。</p> <p>今回の参加メンバーから1月28日の最終報告者2名を決めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉女学院高等学校 2年 女子</li> <li>・大阪羽衣学園高等学校 3年 女子</li> </ul> <p>2013年1月28日(月)</p> <p>13:30～15:30 内閣府 「青少年インターネット環境整備等に関する検討会」</p> <p>16:00～16:40 文部科学省</p> <p>17:00～17:40 総務省</p> <p>経済産業省については、確認中。</p> <p>※サミット熟議の詳細は別紙「熟議録」をご参照ください。</p>
「熟議サミット」 参加校：	<p>[東京都]</p> <p>東京学芸大学附属国際中等教育学校</p> <p>[神奈川県]</p> <p>鎌倉女学院高等学校</p> <p>[茨城県]</p> <p>水戸女子高等学校</p> <p>[大阪府]</p> <p>大阪市立東高等学校、大阪羽衣学園高等学校</p> <p>[奈良県]</p> <p>奈良県立王寺工業高等学校</p>
日時：	2012年12月15日(土) 13:30-17:00
場所：	<p>東京ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行)</p> <p>東京都中央区新川 2-4-7</p> <p>アクセス 地下鉄東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」A4出口より徒歩4分</p>
参加人数：	<p>熟議参加生徒 6人</p> <p>見学者 58人(教員・教育関係者15人 その他43人)</p> <p>合計：64人</p>
熟議参加生徒：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>6人</p> <p>東京学芸大学附属国際中等教育学校 2年 女子</p> <p>鎌倉女学院高等学校 2年 女子</p> <p>水戸女子高等学校 1年 女子</p> <p>大阪市立東高等学校 3年 女子</p> <p>大阪羽衣学園高等学校 3年 女子</p>

	<p>奈良県立王寺工業高等学校 3年 男子 〔ファシリテーター〕</p> <p>大阪羽衣学園高等学校 教諭 米田 謙三 〔ファシリテーター補助〕</p> <p>慶應義塾大学 平野 翔大</p> <p>奈良佐保短期大学 金子 真志 〔書記〕</p> <p>大阪電気通信大学 當山 達也</p>
<p>最終報告会スケジュール：</p>	<p>代表者2名が下記の予定で「最終報告会」を行ないます。</p> <p>「最終報告会」 2013年1月28日（月）</p> <p>内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」、総務省、文部科学省、経済産業省（予定）</p>



### 3. 担当

大阪私学教育情報化研究会	米田	司会、ファシリテーター・書記手配
熟議懇談会	鎌田	熟議全般、
EMA	吉岡 他	事務局、庶務、受付
安心ネットづくり促進協議会	石原	記録（撮影）
内田洋行	市村、佐藤	会場設営、機材準備等

### 4. リアル熟議 成果物と終了後の対応

- 1) 書記は、PC を使い、Word で熟議の内容を記録。
- 2) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 3) リアル熟議終了後、書記が記録した各グループの熟議内容を PDF 化し、発表の画像と併せて、大阪私学教育情報化研究会のサイトにアップデート
- 4) ネット熟議のサイトに大阪私学教育情報化研究会の当該ページのリンク URL を記載
- 5) 第三回終了後、桑崎先生の総評と併せて、大阪私学教育情報化研究会にて取りまとめ
- 6) 総務省、文部科学省へのプレゼンテーション